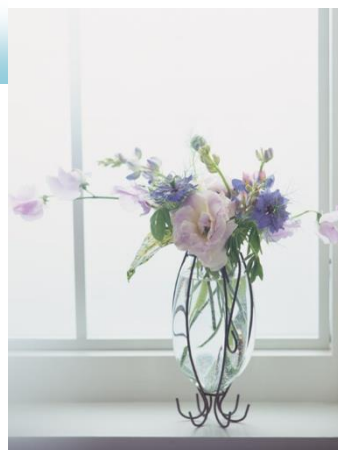


水と細菌の関係 水回りの衛生管理について

I. 入院患者さんへのお花のお見舞いについて

花を見ると気持ちがいいですね。お見舞いの際にお花を持っていきたいこともありますね。病院によって生花をお断りしているところもあります。それは感染の危険性と関連するのでしょうか・・・？



確かに花瓶のなかには水を好む緑膿菌のような微生物が住んでいることがあります。鉢植えの土の中にはレジオネラ菌や破傷風菌などがいる可能性もあります。しかしパストールの時代から“感染症には感染経路が必要”といわれます。つまり、緑膿菌が花瓶から飛び出して、患者さんの口や鼻に入ってくれば問題となります。

「そこに微生物がいる」ということと「それが感染症を起こす」ことは同義ではないということになります。

ただし、免疫能の低下した造血幹細胞移植患者さんが、入室している防護環境部屋（無菌室）に持ち込むことは危険です！！

当院では、生花の持ち込みは、一応ご遠慮いただいています。脳の手術をされた方や、脳卒中で体の弱い方が入院されているからです。早く良くなって、お花を觀賞したいですね。



参考：岩田健太郎（著）絵でわかる感染症

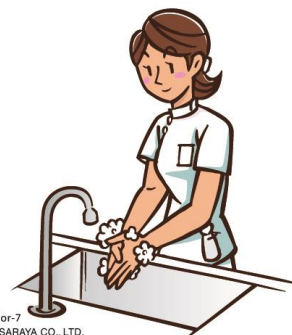


Ⅱ. 水回りの整備をすることは大切

洗い場は、洗浄後の“清潔”と、洗い流された汚れ等の“不潔”が混在する場です。また、水を好む病原菌にとって居心地の良い場所でもあります。

水回りの衛生管理とは

- ★シンク内は乾燥させる。
- ★水はねや汚水で汚れた場合は、使い捨てクロスやペーパータオルなどですぐに拭き取る。
- ★洗浄後のものは自然乾燥させず、乾燥機を使用する。
またはすぐに乾燥させる。
- ★手洗い場に自動水洗ではない場合は、ペーパータオルを使用して蛇口を閉める。
- ★病院ではスポンジは極力避け、使い捨てクロスなどを用いて適切に管理します。スポンジは細菌などの温床になります。



color-7
© SARAYA CO., LTD.



5月5日は2009年以来、WHO（世界保健機関）が
SAVE LIVES : Clean Your Hands を
スローガンに手指衛生を呼び掛ける
記念日となっています。
世界手指衛生デーです。